

県の施策に関する県民意識調査

岩手県が実施する「県の施策に関する県民意識調査」は、県民の皆様が、身の回りの暮らしの事柄について、どの程度重要だと感じ、どの程度満足しているかなどについての御意見を伺うものです。

県では、県民の皆様のお意見を取り入れながら、次の施策を展開していきたいと考えておりますので、調査への御協力をお願いいたします。

また、同封の返信用封筒に記載の整理番号は、**回答数が少なく調査の信頼性を確保できない場合に、未回答の方に改めて調査への御協力をお願いする場合等に使用するもので、回答者個人の回答内容を把握する趣旨のものではありません。**

なお、この調査の結果につきましては、本年5月頃に公表する予定としており、岩手県調査統計課のホームページで御覧になれます。

「いわての統計情報～イーハトーブ・データ館～」

http://www2.pref.iwate.jp/~stat/

お 願 い

◆ このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれた**あて名の御本人様**がお答えください（ただし、御本人様が長期不在などでお答えできない御事情がある場合には、御本人様に代わって、御家族の方などが御自身の立場でお答えください）。

◆ この調査は、無記名でお願いします。回答はすべて統計的に処理され、調査票は、集計後、焼却します。**秘密の保護には万全を期していますので、ありのままをお答えください。**

◆ お答えは、できる限り黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンでお願いします。

◆ お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**2月1日（金）**までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

※ この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県政策地域部調査統計課 調査分析担当 山本

TEL 019-629-5301（直通）

FAX 019-629-5309

E-mail stat@pref.iwate.jp

1 調査の目的

岩手県では、「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定し、東日本大震災津波からの復旧・復興への取組を進めるとともに、これと軌を一にしながら、「私たちが実現していきたい岩手の未来」を描いた「**いわて県民計画**」に掲げる「希望郷いわて」の実現に向けて、計画を推進しています。

また、「いわて県民計画」の期間が2018年度に終了することから、現在、「幸福」をキーワードとした新たな総合計画の策定を進めているところです。

この調査は、「**いわて県民計画**」に掲げる「岩手の未来をつくる7つの政策」や、次期総合計画に掲げる政策を推進していくために、**県民の皆様のお意見を伺いし、次の施策に生かしていく**ために行うものです。

「いわて県民計画」 岩手の未来をつくる7つの政策

- (1) 産業・雇用 ～「産業創造県いわて」の実現～
- (2) 農林水産業 ～「食と緑の創造県いわて」の実現～
- (3) 医療・子育て・福祉 ～「共に生きるいわて」の実現～
- (4) 安全・安心 ～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～
- (5) 教育・文化 ～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～
- (6) 環境 ～「環境王国いわて」の実現～
- (7) 社会資本・公共交通・情報基盤 ～「いわてを支える基盤」の実現～

2 調査結果の活用方法

県では、平成13年度から**政策評価を本格導入**し、県の仕事が目標に向かってうまく機能しているかどうかをチェックし、その結果を次の施策に反映していくことにしています。

今回の**調査結果は、県民の皆様により満足していただけるサービスを提供していくための重要な情報として、政策評価や施策の立案などに活用**することとしています。

3 調査の構成と記入の方法

- (1) 1ページから2ページまでは、調査についての説明です。
3ページから29ページまでが、質問になっています。
- (2) 質問は、問1～問7まであります（問2から問7までは、さらにいくつかの小問に分かれています）。
- (3) 回答は、この調査票の所定の欄に直接御記入ください。
- (4) 回答は、全ての項目についてお願いいたします。

- 1 -

記入例

ここでは、問2（P4～14）の場合を例示しています。

問2 次に、1ページで御説明いたしました「7つの政策」に関連する次の1から50までの調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、**あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。**

「あなたの満足度」では、**あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。**

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
20 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

※ 「あなたの重要度」の記入例

あなたの現在の暮らしにとって、「19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。」という状態を実現することが、どれくらい重要かをお答えいただくものです。
この例では、「重要ではない」という場合を例示していますので、数字の「1」に○をつけます。

※ 「あなたの満足度」の記入例

あなたの現在の暮らしから見て、「19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。」は、どれくらい満足できる状態にあるかをお答えいただくものです。
この例では、「やや不満な状態にある」という場合を例示していますので、数字の「2」に○をつけます。

このページから調査票になります。

問1 まず最初にお伺いします。

あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

あなたの気持ちに近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
5	4	3	2	1	0

問2 次に、1ページで御説明いたしました「7つの政策」に関連する次の1から50の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

(1) まず、「産業・雇用」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない どちらともいえ	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない どちらともいえ	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
1 工場や事業所の新設・増設により、県内経済が活性化していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
2 次の時代の製造業を担う人材が育ち、県内に定着していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や工芸品が開発され、販売されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
5 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない どちらともいえ	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない どちらともいえ	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
6 中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
8 県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(2) 次に、「農林水産業」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない どちらともいえ	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない どちらともいえ	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
9 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
11 本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
12 地域活動や都市との交流により活力ある農山漁村が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(3) 次に、「医療・子育て・福祉」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	ない どちらともいえ	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない どちらともいえ	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
14 必要な医療を適切に受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
16 安心して子どもを子育てられ、子育てがしやすい環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
17 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(4) 次に、「安全・安心」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
18 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
20 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
21 悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
23 岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
24 だれもが市民活動に参加できる社会であること。〔市民活動とは、NPO、ボランティア、自治会・町内会（子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む）などの活動をさします。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
25 地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

(5) 次に、「教育・文化」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取組んでいること。〔学力向上とは、小・中学校では、物事をしっかり考える力が身に付き、高等学校では、目指す進路を実現できる学力が身についていること。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。〔子どもは、小学生から高校生までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
29 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
30 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
34 郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を帯びるような取組がされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
35 地域や学校などで文化芸術（芸術、祭り、行事など）の鑑賞や活動が活発に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
36 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

(6) 次に、「環境」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
38 地球温暖化防止のため、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出削減の取組が各地域で活発に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動物を大切にしながら生活していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(7) 次に、「社会資本・公共交通・情報基盤」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
41 高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
42 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化が進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(8) 次に、以下の項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
47 仕事と生活を両立できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
48 ペットなど動物のいのちを大切にする社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
49 文化芸術・スポーツを生かした地域づくりが行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
50 感染症に対する備えが整っている社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

ここからは、あなたの行動についてお伺いします。

問3-1 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担についてお伺いします。
あなたは、大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問3-2 市民活動についてお伺いします。

(注) 市民活動とは
NPO、ボランティア、自治会・町内会(子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む)などの活動をいいます。

(1) あなたの年齢(満年齢)をお答えください。

(あてはまるもの1つに○印)

1. 65歳未満	2. 65歳以上
----------	----------

(2) あなたは、過去1年間にどのような市民活動に参加しましたか。

以下のそれぞれの活動の参加の状況についてお答えください。

活動の内容	参加の程度は			
	参加の程度 主的に参加	企画段階から自 参誘興味ある場 合活動に	義務的に参加	参加していない
(回答例)「①青少年の健全育成を目的とした活動」について、「1. 企画段階から自主的に参加」の場合、1に○印をつける。	1	2	3	4
①青少年の健全育成を目的とした活動	1	2	3	4
②自然や環境を守る活動	1	2	3	4
③健康、医療、福祉に関係した活動	1	2	3	4
④地域づくりのための活動	1	2	3	4
⑤防災、防犯、交通安全の活動	1	2	3	4
⑥学術、文化、芸術、スポーツに関係した活動	1	2	3	4
⑦その他()	1	2	3	4

問3-3 生活時間についてお伺いします。

夫婦世帯の方は(1)～(3)に記入してください。夫婦世帯以外の方は(4)にお答えください。

(1) お二人とも職業をお持ちですか。

(あてはまるもの1つに○印)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 夫婦二人とも仕事をもちている | 2. 夫のみもちている |
| 3. 妻のみもちている | 4. どちらももちっていない |

(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

以下の家事の種類ごとに、夫と妻を別に、1日当たりの家事労働従事時間を記入してください(1週間の平均時間を目安にお答えください)。

(□内に数字を記入してください)

家事の種類	あなた (調査対象者)			あなたの夫(妻)		
	約	時間	分	約	時間	分
①食事の用意・後片付け						
②掃除・洗濯						
③育児						
④介護・看護						
⑤買い物						
⑥その他()						

(3) あなた(調査対象者)は、普段の生活で、(2)のほか、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

以下の行動の種類ごとに、あなた(調査対象者)の1日当たりの行動の時間を記入してください(1週間の平均時間を目安にお答えください)。

(□内に数字を記入してください)

行動の種類	行動の時間		
	約	時間	分
①睡眠			
②身の回りの用事			
③食事(注1)			
④通勤・通学			
⑤仕事(収入を伴う仕事)			
⑥学業(学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動)			

(注1) 仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

(注2) 行動の種類には(2)、(3)のほか移動(通勤・通学を除く)、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、(2)と(3)の行動の時間の合計が24時間より小さくても構いません。

夫婦世帯以外の方は(4)に記入してください。夫婦世帯の方は記入せず問3-4にお読みください。

(4) あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。以下の行動の種類ごとに、あなた(調査対象者)の1日当たりの行動の時間を記入してください(1週間の平均時間を目安にお答えください)。

(□内に数字を記入してください)

行動の種類	行動の時間		
	約	時間	分
①睡眠			
②身の回りの用事			
③食事(注1)			
④通勤・通学			
⑤仕事(収入を伴う仕事)			
⑥学業(学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動)			
⑦食事の用意・後片付け			
⑧掃除・洗濯			
⑨介護・看護			
⑩育児			
⑪買い物			
⑫その他(⑦～⑩以外の家事)			

(注1) 仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

(注2) 行動の種類には①～⑫のほか移動(通勤・通学を除く)、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、①～⑫の行動の時間の合計が24時間より小さくても構いません。

問3-4 生涯学習についてお伺いします。

(注) 生涯学習とは

いつでも、どこでも自由に行う学習のこと。上手になりたい、もっと知りたい、職業上で必要だからなど、知識・技能を高めるために自発的に取り組み、個人で本を読んだり、インターネットで調べたりする方法も含めた学習活動をいいます。

(1) あなたは、生涯学習に取り組んでいますか。

(あてはまるもの1つに○印)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 取り組んでいる | 2. 取り組んでいない |
|------------|-------------|

※「1. 取り組んでいる」方は(2)へ、「2. 取り組んでいない」方は問3-5へ

(2) (1)で「1. 取り組んでいる」と回答した方にお聞きします。

以下のそれぞれの内容と取組の頻度についてお答えください。

生涯学習の内容	取組の頻度は			
	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	取り組んでいない
(回答例)「②趣味や教養」について、「1. 週に数回程度」取り組んでいる場合、1に○印をつける。	1	2	3	4
①文化・芸術(音楽・合唱、美術、舞踊、郷土史、伝統芸能など)	1	2	3	4
②趣味や教養(パソコン、囲碁・将棋、語学、茶道・華道・着付けなど)	1	2	3	4
③スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進(ヨガ・山歩き・自然食など)	1	2	3	4
④職業上必要な知識・技能(パソコン技能や資格取得など)	1	2	3	4
⑤家庭生活に役立つ技能(料理、手芸など)	1	2	3	4
⑥子育て、しつけや家庭教育、読み聞かせ	1	2	3	4
⑦社会問題(時事、政治、経済、環境など)	1	2	3	4
⑧ボランティア活動に必要な知識・技能	1	2	3	4
⑨その他()	1	2	3	4

問3-5 地球温暖化防止への対応についてお伺いします。

あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。

以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容	行動の状況は			
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	運転しない
(回答例)「①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している」について、「2. ときどき実行している」場合、2に○印をつける。	1	2	3	
①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している(冷房時28℃以上、暖房時20℃以下)	1	2	3	
②不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る	1	2	3	
③食事は残さず食べるなど生ごみを減らす	1	2	3	
④火力調節を行うなど省エネを心がけて調理する	1	2	3	
⑤詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する	1	2	3	
⑥洗顔や食器洗いのときに水を流したままにしない	1	2	3	
⑦外出はできるだけ自動車の利用を控え、自転車や公共交通機関を利用する	1	2	3	
⑧自動車を運転するときに、少しゆるやかな発進や、加減速の少ない運転など燃費向上を心がけている(注)	1	2	3	4

(注) 自動車を運転しない人は「4. 運転しない」を選択してください。

問3-6 ごみの減量化への対応についてお伺いします。
あなたは、ごみの減量化などのため、普段のような行動に努めていますか。
以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容	行動の状況は		
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない
(回答例)「①買い物のときは買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋は辞退している」について、「2. ときどき実行している」場合、2に○印をつける。	1	2	3
①買い物のときは買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋は辞退している	1	2	3
②過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる	1	2	3
③コンポスト(注)などにより生ごみを再資源化したり、水切りネットを使用して、生ごみの量を減らしている	1	2	3
④再生品(リサイクル商品)を積極的に購入している	1	2	3
⑤使い捨て商品の購入を控えている	1	2	3
⑥リターナブル容器(繰り返し使用される容器)や詰め替え商品を利用している	1	2	3
⑦リサイクルショップを利用している	1	2	3
⑧リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)	1	2	3

(注) コンポスト：生ごみを発酵させて堆肥にする方法

問4 県では、「私たちが実現していきたい岩手の未来」を創っていくため、「希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方についてお伺いします。

問4-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。①～⑭の各項目について、あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください (該当しない調査項目は、「わからない」を選択してください)					
	感じる	じやるや感	えとどちらない	い感あじまり	い感じな	なわいから
① 仕事にやりがいを感じますか	5	4	3	2	1	0
② 必要な収入や所得が得られていると感じますか	5	4	3	2	1	0
③ ころよからだが健康だと感じますか	5	4	3	2	1	0
④ 家族と良い関係がとれていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑤ 子育てがしやすいと感じますか	5	4	3	2	1	0
⑥ お住まいの地域は安全だと感じますか	5	4	3	2	1	0
⑦ 地域社会とのつながりを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑧ あなた自身が学習する環境が充実していると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑨ 子どものためになる教育が行われていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑩ 地域の歴史や文化に誇りを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑪ 自然に恵まれていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑫ 地域の自然環境が守られていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑬ 住まいに快適さを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑭ 余暇が充実していると感じますか	5	4	3	2	1	0

問4-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。
最も近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの現在の幸福感 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
感幸福だと 感じる	とや感や幸 て福いだ	いえなら いとも	いだあ まり幸 て福	じ福だ と感 じてい ない	わ から ない
5	4	3	2	1	0

問4-3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。該当する全ての番号に○をつけてください

- 1 家計の状況
- 2 就業状況
- 3 健康状況
- 4 自由な時間・充実した余暇
- 5 仕事のやりがい
- 6 社会貢献
- 7 家族関係
- 8 友人関係
- 9 職場の人間関係
- 10 地域コミュニティとの関係
- 11 子育て環境
- 12 治安・防災体制
- 13 教育環境
- 14 地域の歴史・文化
- 15 自然環境
- 16 居住環境
- 17 その他 (具体的に：)

問4-4 ①～⑥の各項目について、あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください				
	感じる	やや感じる	えとどちらない	いあまり感じ ない	感 じ な い
① 身近な周りの人が幸福であると感じますか	5	4	3	2	1
② 周りの人に認められていると感じますか	5	4	3	2	1
③ 大切な人を幸福にしていると感じますか	5	4	3	2	1
④ 安定した日々を過ごしていると感じますか	5	4	3	2	1
⑤ 人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか	5	4	3	2	1
⑥ 周りの人たちと同じくらい幸福だと感じますか	5	4	3	2	1

問5 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方についてお伺いします。

問5-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。つきあいの程度について、次のうちから当てはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる
- 2 日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
- 3 あいさつ程度の最小限のつきあひしかしていない
- 4 つきあいは全くしていない

問5-2 つきあっているご近所の方の数について、次のうちから当てはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 近所のかかり多くの人と面識・交流がある（概ね20人以上）
- 2 ある程度の人との面識・交流がある（概ね5～19人）
- 3 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね4人以下）
- 4 隣の人がだれかも知らない

問5-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。次のうちから当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください					
	日常的に（毎日から週に数回程度）	ある程度頻りにある（週に1回、月に数回程度）	ときどきある（月に1回、年に数回程度）	めったにない（年に1回、数年に1回程度）	全くない	該当する人はいない
① 友人・知人とのつきあい（学校や職場以外で）	5	4	3	2	1	0
② 親戚・親類とのつきあい（同居している方を除く）	5	4	3	2	1	0

問5-4 あなたは、一般的には信頼できると思いますか。あなたの考え方に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

人はほとんど信頼できる	両者の中間	は越えなはなしたくない	注：注意すること	わからない
←			→	
3	2	1		0

問5-5 「旅先」や「見知らぬ土地」で出会う人に対して、信頼できると思いますか。あなたの考え方に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

人はほとんど信頼できる	両者の中間	は越えなはなしたくない	注：注意すること	わからない
←			→	
3	2	1		0

問5-6 あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。次のうちから当てはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	活動している	活動していない
① 地縁的な活動（自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会など）	2	1
② スポーツ・趣味・娯楽活動（各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習など）	2	1
③ ボランティア・NPO・市民活動（まちづくり、高齢者・障がい者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力活動など）	2	1

問5-7 あなたのお住まいの地域（小・中学校区から市町村の範囲）に対する実感をおたずねします。①～④の各項目について、あなたの実感に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください				
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない
① 地域への愛着を感じていますか	5	4	3	2	1
② ご近所とのつきあいはよいと感じますか	5	4	3	2	1
③ 信頼できる人が身近にいますか	5	4	3	2	1
④ 地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか	5	4	3	2	1

問6 県では2019年度から始まる新たな総合計画の策定を進めており、県民の皆様への「幸福」を重要なテーマとしています。そこで、県民の皆様の幸福感や様々な実感について継続して把握し、次の施策に生かしていくため、同じ人を対象とした新しい調査を2019年度から5年間実施する予定です。

- ①調査時期 毎年1月頃（年1回）
- ②調査期間 2020年～2024年
- ③調査方法 今回調査票をお送りしたご住所に郵送で調査票をお送りします。

上欄で説明した新しい調査に協力していただけますか。該当する番号に○をつけてください。

協力してもよい	どちらでもよい	協力したくない
1	2	3

(注)・「協力してもよい」とお答えいただいた方が多数の場合、新しい調査の対象者を抽選等で選定する場合があります。
・「協力してもよい」とお答えいただいた方が少数の場合、「どちらでもよい」とお答えいただいた方に、改めて新しい調査への協力をお願いを差し上げる場合があります。

アンケートに回答した方（あなた）について伺います。

■7 最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別（○は1つ）

- 1 男性 2 女性

(2) 年齢（満年齢）（○は1つ）

- 1 18～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70歳以上

(3) あなたの主な御職業は何ですか（○は1つ）。

- 1 自営業主
2 家族従業者
3 会社役員・団体役員
4 常用雇用者 ※期間を定めず又は1年を超える期間を定めて雇われる人
5 臨時雇用者（パート、アルバイトなど） ※日々又は1年以内の期間を定めて雇われる人
6 学生
7 専業主婦（主夫）
8 無職
9 その他（具体的に： ）

※ (3)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

その業種は何ですか（○は1つ）。

- 1 農業、林業
2 漁業
3 鉱業、採石業、砂利採取業
4 建設業
5 製造業
6 電気・ガス・熱供給・水道業
7 情報通信業
8 運輸業、郵便業
9 卸売・小売業
10 金融業、保険業
11 不動産業、物品賃貸業
12 学術研究、専門・技術サービス業
13 宿泊業、飲食サービス業
14 その他のサービス業
15 公務
16 その他（具体的に： ）

(4) あなたの世帯構成はどのようになっていますか（○は1つ）。

- 1 ひとり暮らし
2 夫婦のみ
3 2世代世帯（親と夫婦、夫婦と子どもなど）
4 3世代世帯（親と夫婦と子ども、夫婦と子どもと孫、祖父母と親と夫婦など）
5 その他

(5) あなたのお子さんは、何人いますか（同居・別居は問いません）。

- 1 1人 2 2人 3 3人
4 4人 5 5人以上 6 子どもはいない

※ (5)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さんは、次のどこにあてはまりますか（該当する番号すべてに○をつけてください）。

- 1 小学校入学前（乳幼児を含む。）
2 小学生
3 中学生
4 高校生
5 高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学
6 学校教育終了で同居
7 学校教育終了で別居
8 その他（具体的に： ）

(6) あなたは岩手県に住んで通算何年になりますか（○は1つ）。

- 1 1年未満 2 1～5年未満 3 5～10年未満
4 10～20年未満 5 20年以上

(7) あなたが現在お住まいの市町村はどこですか（○は1つ）。

県中央地域	1 盛岡市	2 八幡平市	3 滝沢市	4 磐石町	5 葛巻町
	6 岩手町	7 紫波町	8 矢巾町		
県南地域	9 花巻市	10 北上市	11 遠野市	12 一関市	13 奥州市
	14 西和賀町	15 金ケ崎町	16 平泉町		
沿岸地域	17 宮古市	18 大船渡市	19 陸前高田市	20 釜石市	21 住田町
	22 大槌町	23 山田町	24 岩泉町	25 田野畑村	
県北地域	26 久慈市	27 二戸市	28 普代村	29 軽米町	30 野田村
	31 九戸村	32 洋野町	33 一戸町		

御協力ありがとうございました。

お手数でも2月1日（金）までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。